

平成20年度 学校評価（成果・課題・対応策）

項目	成果	課題	対応策
<p>学校教育目標 経営目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、経営目標、方針等を共通理解し、学年・学級経営案、自己申告書等の目標に位置づけ実践できた。 ・公約リーフレット、学校だより等で積極的に情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、成果報告会、研究報告会等を実施し、保護者へ伝える機会を設けたが参加が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、研究発表会等を授業参観や学校行事等とセットにしたり、持つ時間帯などの持ち方の工夫する。
<p>教育課程 学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級が計画授業時数をきちんと確保することができた。 ・各学年の目標冊数を設定し、朝の読書や図書館利用時間を活用して読書の充実が図れた。また、教科の発展としての調べ学習等も活用が図られた。 ・学校安全教育のテーマに沿って総合の時間で十分に学習が深められた。 ・ALTやネイティブのボランティアを活用しての授業やクラブ活動等を計画的に行い国際理解教育の充実が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策推進計画を全職員で共通理解して推進することが十分ではなかった。 ・諸テストを分析し、個に応じた補習指導等が十分できなかった。 ・学級活動や話し合い活動で自主的・実践的な態度を育てることが出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に学力向上対策委員会を開き全体で共通理解しながら進める。 ・諸テストの結果を分析し、落ち込んだ内容の全体での確認、補習指導での定着の強化を図ると共に校内研修等で授業力の向上、授業改善の取り組みを進める。 ・特別活動の年間計画を検討し、計画的な話し合い活動の充実を図ると共に学校行事や諸活動を通して実践的な態度を育てる。
<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導全体会で職員の共通理解が図られ協同実践できた。 ・問題が起きた時速やかな学年、学校対応、保護者への連絡がスムーズに行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ等の基本的な生活習慣は昨年に比べ改善が見られたが継続指導が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の取組や授業を通してあいさつの重要性についての指導の充実を図る。また、家庭でも習慣が身に付くように連携を図りながら取り組む。
<p>キャリア教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画が作成され、学期初めや年初めなど常に目標を持たせながら活動できた。 ・6年生で職場体験活動ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育では6年生は職場体験を実施したが、他の学年では発達段階に応じた指導が充分出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育計画を全体で確認し、発達段階に応じたキャリア教育の内容・方法等の共通理解を図る。

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育の指定研究を通して児童・職員の危険回避能力、危機管理意識が高まった。 ・保護者や地域の人材を活用して登下校の安全確保が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の安全指導ではまだまだ保護者の参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、学校行事等で学校の取り組みを充分知らせ、絶えず呼びかけ参加者を増やす工夫をする。
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の協力により保健行事をスムーズに行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の定着（早寝、早起き、しっかり朝ごはん） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活習慣を保健だより、掲示資料を通して家庭と協力し連携を図る。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な特別支援教育委員会を持ち情報交換、対応策などを検討できた。 ・個別の指導計画・支援計画が作成され、特別支援学級との交流を計画的に持つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援者の人材の確保、活用の方法。 ・関係機関との連携の方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を図りながら人材の確保に努める。 ・個別の指導計画・支援計画による、校内支援体制としての関わり方の整備を図る。
組織・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・各主任を中心に計画的に諸活動が推進できた。 		
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・全体での検証授業や授業研究会等を通して共通理解できた。 ・安全教育や学対としての両面で検証授業や研修会ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を支える力、聴く、話す、授業中の姿勢等の学習規律の指導の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修のテーマに掲げ全職員共通理解、協同実践で取り組む。
保護者地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、学年便り、ホームページ等で学校の様子を保護者や地域に発信できた。 ・さまざまな活動で地域ボランティアの活用が図られた。 ・学校評議員会を持ち地域の意見を学校教育に生かすことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観への参加は多いが、学級懇談会・学校説明会等への参加者が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の少ない原因を考察し、魅力ある懇談会・説明会になるよう工夫する。 ・学級・学年のPTA組織を活用し啓蒙活動を図る。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全点検を確実に実施し、危険箇所の把握、対応ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕等に時間がかかることがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委、校内の修繕担当との連携を密にして早い対応の工夫を図る。